

「民族共生の象徴となる空間」における民族共生公園(仮称)基本構想(概要)

平成26年6月13日に閣議決定された『アイヌ文化の復興等を促進するための「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営に関する基本方針について』に基づき、浅川昭一郎北海道大学名誉教授を座長に戸田安彦白老町長、加藤忠道アイヌ協会理事長他全9名で構成する「民族共生公園(仮称)基本構想検討会(事務局:国交省北海道開発局)」を設置・開催し公園機能のあり方を基本構想としてとりまとめた。

基本理念

民族共生公園では、自然と共生してきたアイヌ文化を尊重し、国内外から訪れる多様な利用者の理解を促進するとともに、豊かな自然を活用した憩いの場の形成等を通じ、将来へ向けてアイヌ文化の創造発展につなげるための公園的な土地利用の実現を図る。

基本方針

(1) 自然と共生してきたアイヌ文化への理解を深める。

「アイヌ文化の入口」としての自然空間の中で自然と共生してきたアイヌ文化への理解を深めることができる場(体験型のフィールドミュージアム等)を整備する。併せて、アイヌ文化に関わりの深い有用植物や植生環境などの整備を通じて、自然と共生してきたアイヌの人々の自然の恵みを活かした生活や知識と経験を体感できる場の形成を推進する。

(2) 異なる民族が互いに尊重し共生する社会のシンボルとなる空間を形成する。

先住民族であるアイヌの人々の心のよりどころとなるとともに、国内外から訪れる多様な利用者が相互に交流することにより、異なる民族を互いに尊重し共生する社会のシンボルとなる空間を整備する。

(3) 豊かな自然を活用した憩いの場を提供する。

四季を通じて国内外から訪れる多様な利用者の過ごし方に応じて、象徴空間の豊かな自然を体感・体験するための懸け橋となるような快適な空間づくりを進めることとし、その際、地域にある資源の利用や周辺の自然空間と関連付けた利活用も考慮するものとする。

空間構成の方針

民族共生公園は、象徴空間で織りなす自然の軸、民族共生の軸、時間の軸に利用者が触れる場となる。このため、アイヌの伝統的な自然観や世界観を感じることができる拠点として、アイヌ文化を尊重し、文化の継承や創造・発展に資する空間を形成するとともに、四季をとおして多様な利用者が交流できる快適な憩いの場を整備する。

配置すべき機能に関する方針

【エントランス】・・・利用者を安全かつ円滑に迎え入れ、アイヌ文化の紹介、ガイダンスの場となるほか、利用者を送り出す機能を担うことから、象徴空間の意義・施設・活動や他地域との関連・交流などに関する情報提供を行う場とする。

【アイヌの自然観に触れる空間】・・・対象地ではイオル再生事業が展開されていることをふまえ、生活空間に必要な自然素材の育成等を行うとともに、暮らしの中で用いられる知恵や技術などアイヌの人々の伝統的な生活の知識や経験に触れる場を提供し、自然休養林をはじめとした周囲の美しい自然環境との連続性に配慮し、民族共生公園のから自然休養林などへ導く空間を形成する。

【アイヌの世界観を体感する空間】・・・対象地においては(一財)アイヌ民族博物館が、模擬的に作られたチセなどで構成されたコタンにおいて、様々な活動を行っている。民族共生公園では、これまでの活動で得られた知見を活用しつつ、儀礼・儀式など様々な体験・交流活動や伝承活動を行う場を配置することにより、利用者がアイヌ民族の世界観を体感できる空間を提供する。

【アイヌ文化の理解と交流を促す空間】・・・ポロト湖畔は、湖から自然休養林などの山々につながる一連の自然景観を軸として捉え望める場所である。この景観を背景として、多様な利用者を迎え入れ交流できる広場などを設置する。また、チセ群と背後の山々が一体となった景観を眺めることができる場所等に、利用者が行み、自然の連続性やアイヌの文化的景観を眺める視点場となる空間を提供する。

空間構成の留意点

【施設配置やデザイン】・・・自然との調和や環境への配慮、四季の変化などランドスケープの観点から検討されることが必要。

【利用者導線】・・・ポロトやその背後の自然休養林、山々の眺望の広がりや借景となり、利用者が象徴空間に入ったことを感じられるよう、移動中の空間体験に配慮する。その際、象徴空間の運営に必要なバックヤードや資機材の管理用動線が利用者の空間体験の妨げとならないような工夫も必要。

【利用者の移動環境】・・・車いす使用者や幅広い年齢層、外国人等の利用を配慮し、バリアフリーに努めるとともに、案内サインなどについてもユニバーサルデザインの観点を取り入れることが必要。また、中核区域へ利用者を安全かつ円滑に誘導することが重要。

今後に向けて

平成27年度は、関係する機関との連携を引き続き図りながら、本基本構想の具体化を図るための基本計画の策定を行う。